

2022年12月2日

各 位

双日株式会社

双日、インド（ムンバイ～アーメダバード間）高速鉄道の車両基地建設工事を受注

双日株式会社（以下「双日」）は、インド最大のゼネコン兼総合エンジニアリング会社であるラーセン・アンド・トゥーブロ社（Larsen & Toubro Limited）と共同で、インド高速鉄道公社（National High Speed Rail Corporation Limited）が実施するムンバイ～アーメダバード間高速鉄道建設事業（以下「本事業」）の一部である、サバルマティ総合車両基地建設工事（以下「本工事」）を受注しました。車両基地の設計・建設や保守関連機器の調達などを合わせた受注額は約 630 億円です。



【サバルマティ総合車両基地建設予定地】

インドでは近年の人口増加や経済成長を背景に国内の旅客需要が急増しており、安定した大量輸送システムの構築が急務となっています。

本事業は、円借款による政府開発援助としてインド西岸マハラシュトラ州ムンバイ～グジャラート州アーメダバードを結ぶ 508km の区間においてインド初の高速鉄道を建設するものです。現行の在来線特急では移動に約 7 時間かかる同区間を約 2 時間に短縮できる見込みで、高頻度の大量輸送システムの構築により、旅客の利便性を向上するとともに、環境負荷が少ない鉄道のメリットを生かして大気汚染や騒音などの減少と沿線地域の経済発展に寄与します。

本工事は、グジャラート州最大都市のアーメダバード市北西に位置するサバルマティに本事業唯一の総合車両基地を建設するもので、2023 年中に着工し、2028 年の完成を予定しています。

双日は、これまでにインド政府傘下のインド貨物専用鉄道公社から、デリー～ムンバイ間貨物専用鉄道における軌道敷設、電化、信号・通信工事を受注しています。今後も、貨物と旅客の鉄道インフラ整備を通じてインドの発展に貢献していきます。



【ムンバイ～アーメダバード間高速鉄道路線計画（出典：国際協力機構）】

（ご参考）

【関連ニュースリリース】

◆2016年5月19日

『双日、デリー～ムンバイ間貨物専用鉄道の信号・通信工事を受注』

URL : <https://www.sojitz.com/jp/news/2016/05/20160519.php>

【ラーセン・アンド・トゥーブロ社の概要】

会社名	Larsen & Toubro Limited
所在地	L&T House, N.M. Marg, Ballard Estate, Mumbai, Maharashtra - 400 001
代表者	S. N. Subrahmanyam

概要	1938年創業のインド最大のゼネコン兼総合エンジニアリング会社。主軸である建設業、IT開発、エネルギー系エンジニアリングをはじめ、多岐にわたるビジネスをインドのみならず世界規模で展開している。鉄道以外にも道路、橋梁、港湾、空港、水処理、ビル、工場建設などにおいて豊富な実績あり。2021年度の売上高は約2.9兆円。（1ルピー=1.8円で換算）
Webサイト	https://www.larsentoubro.com/

【インド高速鉄道公社の概要】

会社名	National High Speed Rail Corporation Limited
所在地	2nd FLOOR, ASIA BHAWAN, ROAD NO-205 SEC-09, DWARKA, New Delhi -110077
代表者	V. K. Tripathi
概要	ムンバイ～アーメダバード間高速鉄道建設事業の資金調達、建設、維持、管理を目的として、2016年2月にインド鉄道省とグジャラート州政府、マハラシュトラ州政府が共同で設立。
Webサイト	https://www.nhsrcl.in/

【本工事の概要】

概要	総合車両基地の建設
工事名	ムンバイ～アーメダバード間高速鉄道建設事業 サバルマティ総合車両基地パッケージ D2
発注者	インド高速鉄道公社
施工	双日－Larsen & Toubro Limited コンソーシアム
工期	2023年～2028年（完工見込み）
施工場所	グジャラート州・サバルマティ

【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03-6871-3404